



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年2月14日

上場会社名 CKD株式会社

上場取引所 東・名

コード番号 6407 URL <https://www.ckd.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 奥岡 克仁

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 竹澤 正 (TEL) 0568-74-1006

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	115,082	14.8	13,778	43.3	14,059	45.6	9,475	48.5
2024年3月期第3四半期	100,252	△16.6	9,613	△40.6	9,658	△40.2	6,378	△43.2

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 9,661百万円(18.5%) 2024年3月期第3四半期 8,153百万円(△25.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2025年3月期第3四半期	円 銭 141.91	円 銭 —
2024年3月期第3四半期	95.59	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2025年3月期第3四半期	百万円 214,307	百万円 134,508	% 62.8
2024年3月期	208,285	129,098	62.0

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 134,508百万円 2024年3月期 129,098百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2024年3月期	円 銭 —	円 銭 24.00	円 銭 —	円 銭 26.00	円 銭 50.00
2025年3月期	—	38.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	41.00	79.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	156,500	16.4	18,200	38.8	18,500	41.8	12,400	48.7	185.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期3Q	67,909,449株	2024年3月期	67,909,449株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	1,136,440株	2024年3月期	1,143,013株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年3月期3Q	66,770,356株	2024年3月期3Q	66,731,878株

- ※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

当社は、2025年2月14日に機関投資家・アナリスト向け説明会を電話会議にて開催する予定です。この説明会で使用する決算説明資料につきましては、決算発表後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等の注記)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
3. その他	10
〔生産、受注及び販売の状況〕	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

① 当第3四半期連結累計期間の概況

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、経済活動の正常化や半導体需要の回復により設備投資が堅調に推移し、景気は緩やかに回復いたしました。半導体市場においては、生成A I関連を中心に投資が増加し、在庫の正常化が進みましたが、生成A Iや先端半導体以外の分野では投資の調整が継続し、本格的な回復は来年度以降と予想されております。また、自動車市場においては、ハイブリッド車（HEV）への投資が増加したものの、バッテリー式電気自動車（BEV）への投資は、サプライチェーンやインフラ整備などへの課題から、一時的に鈍化しております。一方、FA業界では、過剰在庫の消化が進み、需要は回復へと向かっております。

海外では、米国経済は、半導体市場において生成A I関連以外の需要は依然低調に推移しております。また、自動車市場において、中長期的にはBEVへの投資の拡大が見込まれているものの、新政権による政策変更などへの懸念により、市場に不透明感が漂っております。中国経済は、半導体市場においては、半導体装置の需給バランスの変化などにより、需要が一時的に減少いたしました。また、自動車市場では、車載用電池への投資計画が減少しております。

このような状況のもとで、当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高115,082百万円（前年同四半期比14.8%増）、営業利益13,778百万円（前年同四半期比43.3%増）、経常利益14,059百万円（前年同四半期比45.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益9,475百万円（前年同四半期比48.5%増）となりました。

② セグメント別の状況

<自動機械部門>

国内におけるジェネリック医薬品の安定供給に向けた投資が継続されておりましたが、最終段階に入った装置需要を取り込むことで、薬品包装機の売上高が増加いたしました。また、日系自動車メーカーの車載用電池への投資が増加していることから、リチウムイオン電池製造システムの売上高が増加いたしました。

その結果、売上高は18,330百万円（前年同四半期比55.2%増）、セグメント利益は収益改善の効果にセールスマックスも加わり、3,878百万円（前年同四半期比117.2%増）となりました。

<機器部門>

国内市場では、世界的に旺盛な生成A I関連の投資を背景に、半導体・電子部品業界の一部の顧客で在庫消化が進み、半導体製造装置向け機器の売上高が増加いたしました。また、自動機械部門と同様に、国内メーカーの車載用電池への投資増加を受け、HEV向けの二次電池製造工程向け機器の売上高が増加いたしました。

海外市場では、半導体製造装置の国産化が進む中国や、HBM関連の投資が旺盛だった韓国、半導体や半導体製造装置の重要な供給拠点となったシンガポールで売上高が増加いたしました。

その結果、売上高は96,751百万円（前年同四半期比9.4%増）、セグメント利益は売上増加により13,321百万円（前年同四半期比17.4%増）となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第3四半期連結累計期間における総資産は、前連結会計年度末に比べ6,021百万円増加の214,307百万円となりました。これは主に、商品及び製品が1,330百万円、原材料及び貯蔵品が2,973百万円、投資その他の資産に含まれる投資有価証券が2,083百万円それぞれ減少したものの、受取手形、売掛金及び契約資産が4,475百万円、電子記録債権が7,618百万円それぞれ増加したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ611百万円増加の79,798百万円となりました。これは主に、流動負債のその他に含まれる未払賞与が2,422百万円、前受金が2,237百万円、長期借入金が726百万円それぞれ減少したものの、支払手形及び買掛金が960百万円、電子記録債務が822百万円、未払法人税等が1,485百万円、賞与引当金が1,457百万円、流動負債のその他に含まれる未払消費税等が1,413百万円それぞれ増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ5,409百万円増加の134,508百万円となりました。

自己資本比率につきましては、前連結会計年度末に比べ0.8ポイント増加の62.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期通期の連結業績予想につきましては、最新の業績動向を踏まえ、2024年5月10日に公表いたしました数値を下記のとおり上方修正いたします。

なお、為替レートは1米ドル145円を前提としております。

2025年3月期 通期 連結業績予想数値の修正
(2024年4月1日～2025年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 148,000	百万円 17,500	百万円 17,500	百万円 11,800
今回修正予想 (B)	156,500	18,200	18,500	12,400
増減額 (B - A)	8,500	700	1,000	600
増減率 (%)	5.7	4.0	5.7	5.1
(参考) 前期実績 (2024年3月期)	134,425	13,113	13,048	8,338

この予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいております。実際の業績は、今後様々な要因により予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

なお、該当予想数値の修正に関する事項は、本日(2025年2月14日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」にも記載しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	28,303	29,404
受取手形、売掛金及び契約資産	26,478	30,954
電子記録債権	7,003	14,622
営業未収入金	186	231
商品及び製品	14,357	13,026
仕掛品	5,572	4,543
原材料及び貯蔵品	40,114	37,141
その他	2,350	1,988
貸倒引当金	△39	△40
流動資産合計	124,327	131,871
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	36,870	36,601
その他（純額）	28,814	29,259
有形固定資産合計	65,685	65,860
無形固定資産	1,630	1,456
投資その他の資産	16,641	15,119
固定資産合計	83,957	82,436
資産合計	208,285	214,307

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,325	16,286
電子記録債務	4,351	5,174
短期借入金	7,074	6,847
未払法人税等	821	2,307
賞与引当金	463	1,921
その他の引当金	468	447
その他	14,478	11,426
流動負債合計	42,985	44,412
固定負債		
長期借入金	29,262	28,536
その他の引当金	2	2
退職給付に係る負債	462	702
その他	6,475	6,146
固定負債合計	36,201	35,386
負債合計	79,186	79,798
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,016	11,016
資本剰余金	16,626	16,644
利益剰余金	88,386	93,588
自己株式	△804	△799
株主資本合計	115,225	120,449
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,498	4,045
為替換算調整勘定	7,546	9,223
退職給付に係る調整累計額	827	790
その他の包括利益累計額合計	13,873	14,059
純資産合計	129,098	134,508
負債純資産合計	208,285	214,307

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年12月31日)
売上高	100,252	115,082
売上原価	71,875	81,643
売上総利益	28,376	33,439
販売費及び一般管理費	18,763	19,661
営業利益	9,613	13,778
営業外収益		
受取利息	73	87
受取配当金	251	256
デリバティブ評価益	-	36
為替差益	-	65
その他	379	441
営業外収益合計	704	888
営業外費用		
支払利息	419	427
デリバティブ評価損	6	-
為替差損	9	-
その他	224	179
営業外費用合計	659	607
経常利益	9,658	14,059
特別利益		
その他	14	-
特別利益合計	14	-
特別損失		
固定資産除却損	0	0
その他	10	-
特別損失合計	11	0
税金等調整前四半期純利益	9,661	14,059
法人税、住民税及び事業税	2,301	3,994
法人税等調整額	980	588
法人税等合計	3,282	4,583
四半期純利益	6,378	9,475
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,378	9,475

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	6,378	9,475
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	455	△1,453
為替換算調整勘定	1,280	1,676
退職給付に係る調整額	38	△37
その他の包括利益合計	1,774	185
四半期包括利益	8,153	9,661
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,153	9,661

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自動機械部門	機器部門	計		
売上高					
外部顧客への売上高	11,811	88,440	100,252	—	100,252
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	129	129	△129	—
計	11,811	88,569	100,381	△129	100,252
セグメント利益	1,786	11,344	13,130	△3,516	9,613

- (注) 1. セグメント利益の調整額△3,516百万円には、セグメント間取引消去23百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△3,540百万円が含まれております。全社費用は、主に当社の管理部門に係る費用及び長期的な基礎的研究費用並びにCKDグローバルサービス株式会社に係る費用であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自動機械部門	機器部門	計		
売上高					
外部顧客への売上高	18,330	96,751	115,082	—	115,082
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	139	139	△139	—
計	18,330	96,890	115,221	△139	115,082
セグメント利益	3,878	13,321	17,199	△3,421	13,778

- (注) 1. セグメント利益の調整額△3,421百万円には、セグメント間取引消去23百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△3,445百万円が含まれております。全社費用は、主に当社の管理部門に係る費用及び長期的な基礎的研究費用並びにCKDグローバルサービス株式会社に係る費用であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	4,967百万円	4,831百万円
のれんの償却額	10 "	11 "

3. その他

〔生産、受注及び販売の状況〕

(1) 生産実績

当第3四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高 (百万円)	前年同四半期比 (%)
自動機械部門	18,913	+17.7
機器部門	94,886	+5.9
合計	113,799	+7.7

- (注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。
2. 金額は、販売価格によっております。

(2) 受注実績

当第3四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高 (百万円)	前年同四半期比 (%)	受注残高 (百万円)	前年同四半期比 (%)
自動機械部門	16,280	△1.6	18,153	△14.0

- (注) 自動機械部門以外は、需要見込による生産方法をとっております。

(3) 販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高 (百万円)	前年同四半期比 (%)
自動機械部門	18,330	+55.2
機器部門	96,751	+9.4
合計	115,082	+14.8

- (注) セグメント間取引については、相殺消去しております。